



ぶれワーキング

ちえりいくらぶでは、障がいのある子どもたちが将来、生まれた地域で生き生きと生活が出来るための応援活動として「ぶれワーキング」という社会体験の機会を提供しています。

近隣の商店や企業の協力を得て、職場での社会体験プログラムを一回 30 分程度の時間で実施しています。学齢期の間から地域での実体験の中で、子どもたち本人がやり甲斐を感じる事や人と関わる楽しみなど、社会生活の軸となるものを少しずつ見つけていってもらえる事を願い、平成 24 年からこの活動を続けています。

〇デイリープログラム（参加希望者）

月	火	水	木	金	土
工作・絵画教室	ぶれワーキング (個別活動)	ぶれワーキング (個別活動)	ぶれワーキング (個別活動)	ぶれワーキング (個別活動)	書き方教室

「ぶれワーキング」は、子どもたちに自信を持って楽しく取り組めることを見つけてもらい、生き生きと成長してもらえることを目標としています。

（活動の趣旨）

- ・子どもさん本人がやりたいと思う事を見つける。
 - ・学校卒業後に向けて、生産活動に参加して作業に取り組む習慣をつける。
 - ・障がい特性に合った、活動の場を見つける。
 - ・社会体験を通して、子どもたちに社会を知ってもらう。
 - ・楽しく参加してもらうことを第一とし、自主性を育む。
- ※ご本人・保護者様との面談で活動への参加を選んで頂き、個別支援計画に基づいて支援を実施させていただきます。



「ぶれワーキング」による成果

- ★ご本人にとって
 - ・初めてやってみただけれど、続けて取り組めばできる！と分かり自信がついた。
 - ・人との交わりが楽しくなった。
- ★地域の企業からは、
 - ・障がいのある子どもたちのことが理解出来た。
(特性、持っている力などの個性)
- ★保護者の方からは、
 - ・子どもの持つ力が分かり、将来に向けての視野が広がった。
 - ・学校卒業後の進路にスムーズに移行することが出来た。

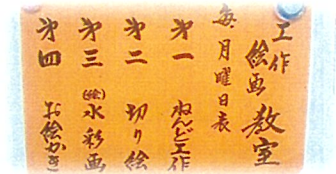


地域交流イベント

地域の人々との交流において、子どもたちには社会での実体験の中で人との関わりの楽しさや、コミュニケーションをとる楽しさを感じてもらい、地域の人には合理的配慮が伴えば力を発揮できる子供たちの可能性を知ってもらおう機会となります。



書き方・工作・絵画教室



楽しく取り組んでもらうことが信条ではありますが、挨拶や礼儀・礼節・一定時間正しい姿勢を保つ意識などをこの活動を通して学んでいただければと考えております。